

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年11月30日(2023.11.30)

【公開番号】特開2023-137021(P2023-137021A)

【公開日】令和5年9月29日(2023.9.29)

【年通号数】公開公報(特許)2023-184

【出願番号】特願2022-43004(P2022-43004)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 1 1 Z

A 6 3 F 5/04 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月21日(2023.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

非内部中状態と、内部中状態と、特別遊技状態とを有し、

非内部中状態の遊技において特別役に当選し、特別役に対応する図柄組合せが停止表示しなかった場合の次の遊技は内部中状態の遊技であり、特別役に対応する図柄組合せが停止表示した場合の次の遊技は特別遊技状態の遊技であるよう構成されており、

非内部中状態の遊技において通常区間から有利区間に移行する場合を有し、

内部中状態の遊技において通常区間から有利区間に移行する場合を有し、

非内部中状態において役抽選の結果として特別役の当選かつ所定役の非当選かつ特定役の非当選となる場合を有し、

30

非内部中状態において役抽選の結果として特別役の当選かつ所定役の当選となる場合を有し、

非内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ所定役の当選となる場合を有さず、

非内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ特定役の当選となる場合を有し、

内部中状態において役抽選の結果として特別役の当選かつ所定役の当選となる場合を有さず、

内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ所定役の当選となる場合を有し、

40

内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ特定役の当選となる場合を有し、

非内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の当選かつ所定役の非当選となった場合は、有利区間に移行し、

非内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の当選かつ所定役の当選となった場合は、有利区間に移行し、

非内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の非当選かつ特定役の当選となった場合は、有利区間に移行せず、

内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の非当選かつ所定役の当選となった

50

場合には、有利区間に移行せず、  
 内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の非当選かつ特定役の当選となった場合には、有利区間に移行せず、  
 内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ特定役の当選となる確率は、非内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ特定役の当選となる確率より高く構成されており、  
 通常区間から有利区間に移行する遊技では、役抽選の結果に基づいてモードを設定可能とし、  
 通常区間から有利区間に移行した遊技の次の遊技では、設定されているモードと遊技状態とに基づいた所定抽選を実行可能とし、  
 内部中状態の通常区間から内部中状態の有利区間に移行した状況での所定抽選の結果に基づき新たに設定されるモードは、非内部中状態の通常区間から内部中状態の有利区間に移行した状況での所定抽選の結果に基づき新たに設定されるモードより有利なモードが設定されやすく構成されており、  
 内部中状態の遊技において通常区間から有利区間に移行する確率は、非内部中状態の遊技において通常区間から有利区間に移行する確率より低く構成されている

10

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明（第17実施形態）は、  
 非内部中状態（非RT）と、内部中状態（RT1）と、特別遊技状態（1BB作動（RB作動））とを有し、  
 非内部中状態の遊技において特別役（1BB）に当選し、特別役に対応する図柄組合せが停止表示しなかった場合の次の遊技は内部中状態の遊技であり、特別役に対応する図柄組合せが停止表示した場合の次の遊技は特別遊技状態の遊技であるよう構成されており、  
 非内部中状態の遊技において通常区間から有利区間に移行する場合を有し、  
 内部中状態の遊技において通常区間から有利区間に移行する場合を有し、  
 非内部中状態において役抽選の結果として特別役の当選かつ所定役（入賞E）の非当選かつ特定役（リプレイB）の非当選となる場合（図216中、当選番号「0」）を有し、  
 非内部中状態において役抽選の結果として特別役（1BB）の当選かつ所定役（入賞E）の当選となる場合（図217中、当選番号「60」～「71」）を有し、  
 非内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ所定役の当選となる場合を有さず、  
 非内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ特定役の当選となる場合（図216中、当選番号「2」）をし、  
 内部中状態において役抽選の結果として特別役の当選かつ所定役の当選となる場合を有さず、  
 内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ所定役の当選となる場合（図219中、当選番号「60」～「71」）を有し、  
 内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ特定役の当選となる場合（図218中、当選番号「2」）を有し、  
 非内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の当選かつ所定役の非当選となった場合は、有利区間に移行し、  
 非内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の当選かつ所定役の当選となった

30

40

50

場合は、有利区間に移行し、  
 非内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の非当選かつ特定役の当選となった場合は、有利区間に移行せず、  
 内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の非当選かつ所定役の当選となった場合には、有利区間に移行せず、  
 内部中状態の通常区間において役抽選の結果が特別役の非当選かつ特定役の当選となった場合には、有利区間に移行せず、  
 内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ特定役の当選となる確率（置数「8」）は、非内部中状態において役抽選の結果として特別役の非当選かつ特定役の当選となる確率（置数「4」）より高く構成されており、  
 通常区間から有利区間に移行する遊技では、役抽選の結果に基づいてモード（初期通常モード）を設定可能とし（図232（a）中、ステップS495）、  
 通常区間から有利区間に移行した遊技の次の遊技では、設定されているモードと遊技状態とに基づいた所定抽選（通常モード抽選）を実行可能とし（図233（a）中、ステップS503）、  
 内部中状態の通常区間から内部中状態の有利区間に移行した状況（朝一以外）での所定抽選の結果に基づき新たに設定されるモード（天国B準備モード）は、非内部中状態の通常区間から内部中状態の有利区間に移行した状況（朝一）での所定抽選の結果に基づき新たに設定されるモード（通常A、通常B、通常C、又は天国Aモード）より有利なモードが設定されやすく構成されており、  
 内部中状態の遊技において通常区間から有利区間に移行する確率（置数「57968」）は、非内部中状態の遊技において通常区間から有利区間に移行する確率（置数「65532」）より低く構成されている

10

20

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】2280

【補正方法】変更

【補正の内容】

【2280】

30

また、各置数表において、「有利区間」とは、有利区間の移行抽選の有無を示している。「    」は、当該当選番号に当選したときに有利区間抽選が実行されることを意味し、「x」は、当該当選番号に当選したときに有利区間抽選が実行されないことを意味する。「-」は、抽選の対象となっていないために（置数が「0」であることにより）有利区間の抽選対象にならないことを意味する。さらに本実施形態では、有利区間移行抽選が実行されるときは、「1/1」の確率で有利区間に当選するように設定されている。

たとえば当該遊技が通常区間であり、図216中、当選番号「1」（リプレイA）に当選したときは、当該遊技で必ず有利区間移行に当選し、次回遊技から有利区間となる。

なお、有利区間中であるときは、有利区間移行抽選は実行されない。

また、図216及び図218に示すように、非RT及びRT1のいずれも、当選番号「2」（リプレイB）に当選したときは、有利区間移行抽選は実行されないので有利区間に移行しない。したがって、通常区間において当選番号「2」に当選したときは、次回遊技も通常区間となる。

40

さらに、図219に示すように、RT1において、当選番号「60」～「71」（入賞E1～入賞12）に当選したときは、有利区間移行抽選は実行されないので有利区間に移行しない。したがって、当選番号「2」と同様に、通常区間において当選番号「60」～「71」に当選したときは、次回遊技も通常区間となる。

なお、有利区間の移行抽選を実行することなく、有利区間に移行する当選番号を定めおき、当該当選番号に当選したときには次回遊技から有利区間に移行するようにしてもよい。たとえば、図216～図219に示す各置数表における有利区間の欄に「    」が付い

50

ている当選番号に当選したときには、有利区間移行抽選を実行することなく次回遊技から有利区間に移行するようにしてもよい。

10

20

30

40

50